

eRed Folder: First Hit Previous Doc Next Doc Go to Doc#
End of Result Set☐ General Collection ☐ Patents

LZ2: Entry 1 of 1

File: DWPI

Apr 12, 2002

DERWENT-ACC-NO: 2002-389723
DERWENT-WEEK: 200242
COPYRIGHT 2002 DERWENT INFORMATION LTDTITLE: Payments program includes list of companies which provides credit cards to user, from which one company is selected corresponding to which payment data with purchase order data are transmitted to supplier

INVENTOR: YOEHRDA K

PATENT-ASSIGNEE:

ASSIGNEE

CODE

JAPAN TOTAL DESIGN COMMUNICATION KK

NITON

PRIORITY-DATA: 2000JP-295923 (September 28, 2000)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO

PUB-DATE

LANGUAGE

☐ JP 2002109435 A

April 12, 2002

JA

APPLICATION-DATA:

PUB-NO

APPL-DATE

APPL-NO

DESCRIPTOR

JP2002108435A

September 28, 2000

2000JP-295923

INT-CL-CURRENT:

TYPE IPC

DATE

CIPS G06 Q 1/9/00 20060101

CIPS G06 Q 2/9/00 20060101

CIPP G07 Q 1/12 20060101

CIPS G07 Q 1/14 20060101

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 2002109435 A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - Several companies which provide credit cards for the user are displayed when purchase order data (D1) is transmitted by a user through a portable terminal (2). A specific payment company is selected by the user, corresponding to which payment data and purchase order data are transmitted to a supplier for delivering goods to the user.

DESCRIPTION - An INDEPENDENT CLAIM is included for payment system.

<http://iputer1:42900/bin/gate.exe?f=doc&state=4ka76b.24.1&ESNAME=FULL&p Message=&a...> 8/27/2008

JP2002-109435

USE - Payments program for settling payment for purchase of goods, through internet.

ADVANTAGE - Enables the user to select a company from various payment companies which provides credit card for purchase of goods. Thus utilization of credit card companies is performed effectively.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the functional block diagram of the payments system. (Drawing includes non-English language text).

Portable terminal (2)

Purchase order data (D1)

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 2002109435 A
EQUIVALENT-ABSTRACTS:

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/10

TITLE-TERMS: PROGRAM LIST COMPANY CREDIT CARD USER ONE SELECT CORRESPOND PAY DATA
PURCHASE ORDER TRANSMIT SUPPLY

DERWENT-CLASS: T01 T05

BFI-CODES: T01-J05A1; T05-L01A;

SECONDARY-ACC-NO:

Narr-CPI Secondary Accession Numbers: 2002-305672

[Previous Doc](#)

[Next Doc](#)

[Go to Doc#](#)

(51) Int. Cl. ⁷	識別番号	PI	ナコード (参考)
G06F 17/60	414	G06F 17/60	414 8E042
	490		400 5B049
	506		506 5B055
G07G 1/12	321	G07G 1/12	321 L
1/14		1/14	

特許代理人 有 限 公 司 大 塚 研 究 所 (全 7 頁)

(31) 出願番号 特願2004-296223 (P2004-296223)

(32) 出願日 平成14年9月8日 (2002.9.8)

(71) 出願人 00000000

株式会社ジャパン・トータルデザイン・コミュニケーション
東京都港区赤坂1丁目6番3号

(72) 発明者 吉田 一三

東京都港区赤坂1丁目6番1号 株式会社ジャパン・トータルデザイン・コミュニケーション内

(73) 代理人 00000000

外資系 株式会社

〒100-0001 東京都千代田区千代田

00000000 00000000 00000000 00000000

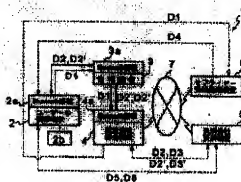
00000000

(54) 【発明の名称】 決済プログラムおよび決済システム

(57) 【要約】

【課題】 この発明は、ユーザーが携帯端末上で決済に際して複数の決済会社の中から選択することができるようにした決済プログラムおよびそのシステムに関する。

【解決手段】 情報機能が情報を提供する商品やサービスについてユーザーが携帯端末上で決済データを送信すると、該決済データを受信すると共にユーザーの携帯端末端末に決済を行う複数の決済会社を複数可能に表示する決済データを送信し、ユーザーが前記携帯端末端末に上記複数の決済会社の中から特定の決済会社を指定した決済データを送信すると、該決済データを受信すると共に通信ネットワークを介して前記指定された決済会社の決済装置へ送信を求めると共に決済データを送り、該決済会社の決済装置からユーザーに送信を求め決済を認める決済データが送られるとすアワイヤーに前記決済データを送って、ユーザーへ商品またはサービスの提供を行わせることを特徴とする。



【情報提供の範囲】

【請求項1】 現金振込に役付られた決済プログラムであって、

情報提供が提供する商品やサービスの情報についてユーザーが振替端末で発注データを送信すると、該発注データを受信すると共にユーザーの振替振替端末に決済を行う複数の決済会社を選択可能に表示する決済データを送信し、

ユーザーが前記振替端末で上記複数の決済会社の中から特定の決済会社を指定した決済データを送信すると、該決済データを受信すると共に通信ネットワークを介して前記指定された決済会社の決済振込へ送信を求めると同時に、決済を要する決済データを送り、

該決済会社の決済振込からユーザーに受信を要する受信データないし決済を要する決済データが送られるとサブライヤーに前記発注データと決済データを送って、ユーザーへ商品またはサービスの提供を行わせることを特徴とする決済プログラム。

【請求項2】 サブライヤー側に設けられた情報提供に接続された現金振込に役付られた決済プログラムであって、

情報提供が提供する商品やサービスの情報についてユーザーが振替端末で発注データを送信すると、該発注データを受信すると共にユーザーの振替振替端末に決済を行う複数の決済会社を選択可能に表示する決済データを送信し、

ユーザーが前記振替端末で上記複数の決済会社の中から特定の決済会社を指定した決済データを送信すると、該決済データを受信すると共に通信ネットワークを介して前記指定された決済会社の決済振込へ送信を求めると同時に、決済を要する決済データを送り、

該決済会社の決済振込からユーザーに受信を要する受信データないし決済を要する決済データを受信すると前記発注データに基づいてユーザーへの商品またはサービスの提供を行わせることを特徴とする決済プログラム。

【請求項3】 情報提供が提供する商品やサービスの情報についてユーザーが振替端末で発注データを送信すると、これを受けた現金振込の現金振込からユーザーの振替振込に決済を行う複数の決済会社を選択可能に表示する決済データが送信され、

ユーザーが前記振替端末で上記複数の決済会社の中から特定の決済会社を指定した決済データを送信すると、該決済データを受信すると共に通信ネットワークを介して前記指定された決済会社の決済振込へ送信を求めると同時に、決済を要する決済データを送り、

該決済会社の決済振込からユーザーに受信を要する受信データないし決済を要する決済データが現金振込に送られると、現金振込からサブライヤーに前記発注データを送って、ユーザーへ商品またはサービスの提供を行わせることを特徴とする決済システム。

【請求項4】 サブライヤー側情報提供が設けられており、該情報提供が提供する商品やサービスの情報についてユーザーが振替端末で発注データを送信すると、これを受けた現金振込の現金振込からユーザーの振替振込に決済を行う複数の決済会社を選択可能に表示する決済データが送信され、

ユーザーが前記振替端末で上記複数の決済会社の中から特定の決済会社を指定した決済データを送信すると、該決済データを受信した現金振込は通信ネットワークを介して前記指定された決済会社の決済振込へ送信を求めると同時に、決済を要する決済データを送り、該決済会社の決済振込から現金振込にユーザーへ受信を要する受信データないし決済を要する決済データが送られると、現金振込は現金振込からサブライヤーに前記発注データを送って、サブライヤーに前記発注データに基づいてユーザーへの商品またはサービスの提供を行わせることを特徴とする決済システム。

【請求項5】 ユーザーの振替振込と、現金振込とそれぞれ1000000円程度のポイント機能の現金振込に役付られてデータ交換しうることを特徴とする請求項1から4に記載の決済システム。

【請求項6】 現金振込からユーザーの振替振込に送られる決済データが、ユーザーの振替振込の振込1回に1つの決済会社とその振込が振替振込に提供されており、その他を振替振込と振込振込とを振替振込1回に提供された現金振込以外の振込振込を振替振込1回に提供されることを特徴とする請求項1から5に記載の決済システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【従来の技術】従来、ユーザーが商品やサービスの提供を受ける場合には、サブライヤーが提供している特定のクレジットカードなどの決済会社とが、現金振込を行ない、各振込の振込を振替振込して振替振込を行っており、ユーザーが現金振込を振替振込する振替振込ではなかった。また、近頃はインターネット上を利用できる電子マネーも知られているが、利用法は限られている。

【0002】

【発明が解決しようとする課題】この発明は、上記事情に鑑みて従来技術の課題を解決したものであって、その主たる課題は、ユーザーが振替振込で決済に際して種々の現金振込の中から選択することができるようにした決済プログラムおよびそのシステムを提供することにある。

【0003】

【問題点を解決するための手段】この発明は上記課題を解決するために、請求項1の決済プログラムであって、情報提供が提供する商品やサービスの情報についてユーザーが振替振込で発注データを送信すると、該発注データ

を受信すると共にユーザーの前記携帯端末に送信する決済データを受信し、ユーザーが前記携帯端末で上記複数の決済会社の中から特定の決済会社を指定した決済データを送信すると、該決済データを受信すると共に通信ネットワークを介して前記指定された決済会社の決済装置へ送信を要する受信データないし決済を要する決済データを送り、該決済会社の決済装置からユーザーに受信を要する受信データないし決済を要する決済データが送られるとサブライヤーに前記受信データと決済データを送って、ユーザーへ商品またはサービスの提供を行わせると、という技術的手段を備えている。また、請求項3の決済プログラムは、前記複数の決済会社に提供された決済プログラムであって、情報ネットワークを通じて受信データを送信すると、該受信データを受信すると共にユーザーの前記携帯端末に決済を行う前記特定の決済会社を指定可能なように送信する決済データを送り、ユーザーが前記携帯端末で上記複数の決済会社の中から特定の決済会社を指定した決済データを送信すると、該決済データを受信すると共に通信ネットワークを介して前記指定された決済会社の決済装置へ送信を要する受信データないし決済を要する決済データを送り、該決済会社の決済装置からユーザーに受信を要する受信データないし決済を要する決済データを送り、該決済会社を指定可能なように送信する決済データを送り、という技術的手段を備えている。

【0004】請求項3の決済システムの発明は、情報ネットワークを通じて受信データを送信すると、これを受けた通信装置からユーザーの携帯端末に決済を行う前記特定の決済会社を指定可能なように送信する決済データが送信され、ユーザーが前記携帯端末で上記複数の決済会社の中から特定の決済会社を指定した決済データを送信すると、該決済データを受信した通信装置は通信ネットワークを介して前記指定された決済会社へ送信を要する受信データないし決済を要する決済データを送り、該決済会社の決済装置からユーザーに受信を要する受信データないし決済を要する決済データが通信装置に送られると、通信装置からサブライヤーに前記受信データを送って、ユーザーへ商品またはサービスの提供を行わせると、という技術的手段を備えている。また、請求項4の決済システムは、サブライヤー側に情報ネットワークが設けられており、該情報ネットワークが提供する商品やサービスの情報を通じて受信データを送信すると、これを受けた通信装置は通信ネットワークを介して前記特定の決済会社を指定可能なように送信する決済データを送信され、ユーザーが前記携帯端末で上記複数の決済会社の中から特定の決済会社を指

定した決済データを送信すると、該決済データを受信した通信装置は通信ネットワークを介して前記指定された決済会社の決済装置へ送信を要する受信データないし決済を要する決済データを送り、該決済会社の決済装置から通信装置にユーザーへ受信を要する受信データないし決済を要する決済データが送られると、通信装置は情報ネットワークを通じてユーザーへの商品またはサービスの提供を行わせると、という技術的手段を備えている。

【0005】また、発明は他の発明では、前記ユーザーの携帯端末と、情報ネットワークを介してそれぞれBluetooth等のポイントトポロジー型通信方式で接続されてデータ交換し、という技術的手段を備えている。請求項6の発明では、通信装置から送られる決済要求データが、ユーザーの携帯端末で通信ネットワーク上の決済会社とその単位が通信可能なように送られており、その単位を指定すると他の単位にも送信可能なように送られる決済会社以外の決済会社を指定するように通信装置が設けられている、という技術的手段を備えている。

【0006】【発明の実施の形態】以下に、この発明の決済システムの形態について説明を併行しながら説明する。図1および図2は本発明のシステム1で、ユーザーが使用する無線ネットワークの形態と、一様の無線ネットワークに接続された商品やサービスの情報を提供する情報装置3と、インターネット等の通信ネットワークに接続された通信装置の通信装置（通信サーバ）4と、同時に前記通信ネットワーク7に接続された決済会社の決済装置（決済サーバ）5およびサブライヤーの受信処理装置（受信サーバ）6とからなっている。

【0007】本実施形態では、前記携帯端末2と、情報装置3と、通信装置4とは、それぞれにBluetooth等のポイントトポロジー型通信方式2.4, 3.4, 4.4が適用されている。ここでBluetoothとは、ブルートゥース・スペシャル・インターグループ（Bluetooth special interest Group）により定義されている。これは確立された低電力消費に特化するが、通信距離が2.4, 4.5GHzの空いているISM（Industrial, Scientific, Medical）産業、科学、医療用）周波数において、0.001W未満、1m以下の出力で実現できるように定められ、その通信距離は10メートルで、データ伝送レートは722kb/sである。この仕様は無線ホッピングとそして時分割多重化技術を利用する。参考文献：コードネーム、ブルートゥース。無線接続のグローバル仕様（AGlobal Specification for Wireless Connectivity）、ブルートゥース・スペシャル・インターグループ、www.bluetooth h. com, 1998年時。

【0008】ここで情報端末2は、データを受受可能な無線装置2aを搭載したものでディスプレイ装置2bを備えた携帯可能なものであり、その他様々なものが、例えば携帯電話やPDA、携帯型ゲーム機などに前記無線装置を搭載したものが用いられる。

【0009】情報端末3は、インターネット等の通信ネットワークに接続可能な装置、例えばパソコン、PDA、ウェブTV（携帯）、デジタルTVなど、または独立して使用されるそれ以外の機器、例えば電話、ラジオ、カーナビなどである。この情報端末3は、商品やサービスの情報をユーザーに伝えるものであり、情報端末2の無線装置2aとデータ通信可能な無線装置3aを搭載した構成からなっている。

【0010】次に、現金会社の現金装置4は、本実施例では前記と同様の無線装置4aを搭載すると共に、通信ネットワークに接続可能なパーソナルコンピュータからなっており、前記情報端末3の送受信と接続される無線装置4a、3a間でデータ通信可能となっている。また、決済会社の決済装置5やサブライヤーの受注処理装置6は、それぞれパーソナルコンピュータ等の装置構成またはサーバーからなっており通信ネットワークに接続されている。

【0011】ここで、ユーザーには、個人、個人企業、公的機関等の他の法人や団体などが含まれる。また、決済会社には、銀行、郵便局、農協、信託会社、信託キャリア、その他の決済システムが含まれる。サブライヤーには、企業、個人、公的機関、その他の法人や団体などが含まれる。

【0012】次に、この決済システムの平準について説明する。ユーザーは、情報端末2に搭載されたBluetooth通信の無線装置2aと情報端末3に搭載されたBluetooth通信の無線装置3aとを交信させて、ディスプレイ装置2b上に情報データ3を転送する商品やサービスの情報データと文字やアイコンなどで表示してもよい。そこで、ユーザーはディスプレイ装置2bで表示されたの中から気に入ったものを選択し、発行データD1を送信する。

【0013】あるいは、ユーザーには商品やサービスの情報データを表示せず、ユーザーは情報端末3の外観表示に示された商品やサービスの情報データを見ながら、情報端末2から発行データD1を送信するようにしてもよい。この発行データD1は、情報端末3のBluetooth通信の無線装置3aと現金会社の現金装置4aに搭載されたBluetooth通信の無線装置4aによって交換されて現金装置4のメモリに記録される。

【0014】次に、現金装置4は、その無線装置4aから情報端末3の無線装置3aを介して、ユーザーの情報端末2の無線装置2aとデータ通信を行って決済データD2を送信し、送信時にはユーザーの前記情報端末2

のディスプレイ装置2bに決済を行う際の決済会社の文字やアイコンなどを表示可能な表示する（図3参照）。

【0015】決済データD2は、ユーザーの情報端末2のディスプレイ装置2bに、図3（a）に示すように第1画面として1つの決済会社（以下、ここではA社カード）を表示され、その後に「OK」コマンドC1と「その他」コマンドC2が画面表示に転送される。そして、「OK」コマンドC1を選択するとA社カードが決済を行うカードと決定されその決済会社が決まる。

【0016】「その他」を選択すると、第2画面に進み前記第1画面に示された決済会社のカード2以外の決済会社のカードを選択するように画面には例えば「BBカード」、「CCカード」、「DDカード」および「Eカード」等の選択可能なコマンドC3が画面表示に転送される。そこで、ユーザーが決済希望のカード（例えば「CCカード」とする）を選択し、その決済を希望すれば、CCカードが決済を行うカードと決定されその決済会社が決まる。このように決済希望のための画面は、最初（第1画面）に表示される決済希望のカードを、その後複数のの中から選択される決済希望のカードに対して複数回もたせて表示することができ、

【0017】このようにしてユーザーは、現金会社から提供する複数の決済会社のカードの中から決済会社を選択した決済データD2が情報端末3の現金装置4aに送り渡される。そして、現金会社の現金装置4aに上記決定された決済会社の決済装置5と通信ネットワーク7を介してアクセスし、前記決済データD2とを転送する発行データD3とを返す。

【0018】前記決済会社の決済装置5が信用有りと判定すると、発行データD3を第1画面に「決済処理を行う際の決済データD2」が画面表示に送り渡される。画面表示は決済データD2と発行データD3とを発行処理と、前記決定された発行データD1を対応するサブライヤーの受注処理装置6に送る。

【0019】また、現金装置4は、前記決済処理を行う際の決済データD2を、前記現金装置4a-3、3a-2aを介して情報端末3から情報端末2に送り、ディスプレイ装置2bに「決済履歴」を表示して決済が行われることをユーザーにフィードバックする。

【0020】一方、サブライヤーは、受注処理装置6が発行データD1を受信すると、ユーザーへ商品またはサービスの提供D4を行う。一方、決済会社は、前記ユーザーにメールまたは郵便で請求書または請求書を送る（D5）。そして、これに基づき決済会社はユーザーの口座から請求額を引く下り、またはユーザーが送金するなどの第1次決済（D6）が行われる。そして、決済会社は、ユーザーの代金から自己の手当料を差し引いた

金額を第2次決済(D7)として、現金会社に商品金などにより支払う。また、現金会社は自己の手帳簿を差引いた金額を第3次決済(D8)として、同様にサプライヤーに支払う。

【0021】上記実施例では、ユーザーの携帯電話と情報機器3と現金装置4のそれぞれに無線装置2a、3a、4aが搭載された例を示したが、この発明のシステムでは図4に示すようにユーザーの携帯電話と情報機器3とが無線装置2a、3aでデータ通信を行うことができ、情報機器3と現金装置4とは通信ネットワーク7を介して接続される構成であってもよい。その他の構成は前記実施例と同様であるので、同一構成には同一符号を付してその説明を省略する。

【0022】また、図4に示すように、上記情報機器3と現金装置4とは一つの装置として構成されたものでもよい。即ち、情報機器3には現金装置4に対応するプログラム4'が搭載されており、また通信ネットワーク7は接続される構成であってもよい。

【0023】あるいは、図4に示すように、情報機器3はユーザーの携帯電話と無線装置2a、3aでデータ通信し、あるいは表示しないが情報機器3には無線装置を搭載せずにユーザーは情報だけを知ることができ、ユーザーは携帯電話2で通信ネットワーク7を介して現金会社の現金装置(現金装置)4に接続する構成であってもよい。この場合は、ユーザーと現金会社とが情報機器3を介して直接にデータ通信を行うことになる。上記各実施例においては、第1実施例と異なる構成以外と同様であるので、その説明を省略する。

【0024】上記各実施例では、現金会社はサプライヤーに携帯電話と共に通信決済データを送る必要があるが、商品やサービスその場でユーザーに引き渡せる場合には現金会社は携帯電話だけサプライヤーに送ればよい。そこで、図7および図8に示す異なる実施例の決済システムでは、例えばファーストフードなどのユーザーとサプライヤーが同一場所(店舗)にいる場合の決済システムについて説明する。

【0025】この場合に、情報機器3はサプライヤーの管理下にある。そして、情報機器3とユーザーの携帯電話との携帯電話2とは、無線装置3a、2aの交換で、当該店舗の取り扱った商品やサービスをユーザーの携帯電話2のディスプレイ装置2bに表示する。ユーザーは、ディスプレイ装置2bを見ながら携帯電話2で商品を選択し発信する。この発信データD1は、前記情報機器3の2a、3aを介して情報機器3に送られる。

【0026】情報機器3は、上記発信データD2に对应する代金の決済を求める決済データD2を現金装置4に前記無線装置3a、4aを介して送る。すると、現金装置4は、情報機器3を介してユーザーの携帯電話2に決済処理画面を表示する決済データD2を送信し、決済会社を選択させる。この際のデータ通信には前記無線装置

4aと3a、3aと2aが用いられる。

【0027】このようにしてユーザーが希望する決済会社を決定し、この決済会社を決定した決済データD2が送信されると、前記実施例と同様に、現金装置4は、上記決定された決済会社の決済装置と通信ネットワーク7を介してアクセスし、上記決済データD2と受信データD3とを送る。

【0028】前記決済会社の決済装置より返信有りとして受信要求に対して返信有である旨の受信データD3'と決済会社へ決済を行う旨の発信データD2'が返されると、この発信データD2'と受信データD3'は、決済装置4から通信ネットワーク7を介して現金装置4に送られる。そして、現金装置4は、決済データD2'をサプライヤー側の情報機器3に送る。

【0029】決済データD2'を宛先としたサプライヤーへ商品金またはサービスの提供を行う(D4)。なお、前記決済データD2'は、無線装置3a、3aによる通信でユーザーの携帯電話2のディスプレイ装置2bに表示される。上記実施例では、発信データD2'の宛先は前記実施例と異なる。またサプライヤーは前記実施例と異なるような構成を付ける必要がないが、その他の構成は前記各実施例と同様であるので、同一構成には同一符号を付してその説明を省略する。

【0030】上記実施例では、前記図1および図2の実施例の場合と同様に、情報機器3と携帯電話とが現金装置4の無線装置4aを介して接続される。図4に示す実施例では、ユーザーの携帯電話と情報機器3とは無線装置2a、3aでデータ通信を行うことができ、情報機器3と現金装置4とは通信ネットワーク7を介して接続される。

【0031】また、図1Gに示す実施例では、上記情報機器3と現金装置4とは同一構成とされる。この場合、情報機器3には現金装置4に対応する現金プログラム4'が搭載されており、またその店舗のために通信ネットワーク7に接続される構成となっている。これらの実施例の場合にはサプライヤーの発信装置は前記図2と同様となる。その他、要するにこの発明の発意を変更しない範囲で種々変形し得ること勿論である。

【0032】【発明の効果】この発明は上記構成からなっているが、ユーザーは携帯電話上での商品の発信を行うことができ、また決済に際しては、現金会社が提供する側々の決済会社の中から選択して決済を行うことができる。決済会社の選択に際しては、現金会社によって優先順序を設定することができるので、特定の決済会社の利用をユーザーに促すことも可能である。

【図解の簡単な説明】

【図1】第1実施例の決済システムの全体構成を示す概観ブロック図である。

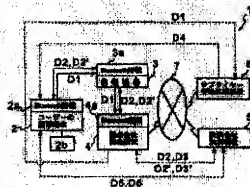
- 【図2】同システムの構成を示すブロック図である。
 【図3】決済用の画面を示す正副図である。
 【図4】別の実施例の決済システムのブロック図である。
 【図5】異なる実施例の決済システムのブロック図である。
 【図6】更に別の実施例の決済システムのブロック図である。
 【図7】現金装置に発行データを送らない別の実施例の決済システムの全体構成を示す接続ブロック図である。
 【図8】同システムの構成を示すブロック図である。
 【図9】別の実施例の決済システムのブロック図である。
 【図10】異なる実施例の決済システムのブロック図である。

【符号の説明】

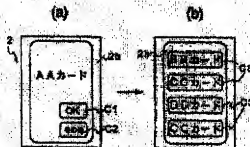
- 1 決済システム
 2 携帯端末
 2a 携帯端末に搭載された無線装置

- 2b 携帯端末に接続されたディスプレイ装置
 3 情報装置
 3a 情報装置に搭載された無線装置
 4 現金装置の現金装置
 4a 現金装置に搭載された無線装置
 5 決済会社の決済装置
 6 サプライヤーの管理用装置
 7 通信ネットワーク
 D1 発行データ
 D2 決済を定める決済データ
 D2' 決済を定める決済データ
 D3 与信を定める与信データ
 D3' 与信を定める与信データ
 D4 商品またはサービスの価格
 D5 請求額または振替額の通知
 D6 ユーザーからの決済（第1次決済）
 D7 第2次決済
 D8 第3次決済

【図1】

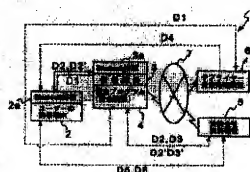
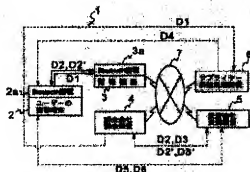


【図3】

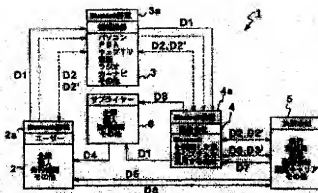


【図5】

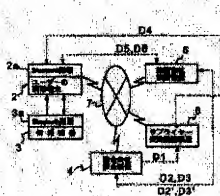
【図4】



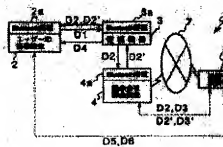
【図2】



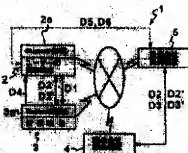
【図6】



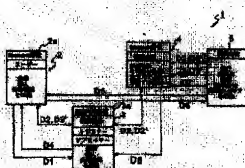
【図8】



【図9】



【図7】



【図10】

